

# 根釧の経済概況（令和6年3月末基準）：根室管内

水産：根室管内の水揚量は19千tで前年同期比30.3%減少、金額は69億3百万円で同比15.0%の減少。

①根室管内総水揚高（各年1～3月）

根室市			根室管内3町		根室管内合計			
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R6	4,127	2,490	15,579	4,413	19,706	▲30.3%	6,903	▲15.0%
R5	6,295	2,100	21,995	6,029	28,290	+15.8%	8,129	+16.2%
R4	4,879	2,067	19,551	4,925	24,430	▲14.6%	6,992	▲8.3%
R3	6,301	2,378	22,308	5,253	28,609	+20.2%	7,631	+30.6%
R2	6,347	2,104	17,451	3,735	23,798	▲13.6%	5,839	▲26.1%

②スケソウダラ漁(羅臼 各年1～3月)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R6	3,446	▲20.9%	402	116
R5	4,357	19.8%	513	117
R4	3,635	68.0%	357	98

●羅臼スケソウダラは、数量3,446t、金額402百万円で、数量・金額ともに前年同期比減少。数量は同20%の大幅減少。  
●標津・野付のホタテ漁は、シケの発生や流水の影響により、操業日数が減少したことで、数量8,247t、前年同期比26.6%の減少、金額2,981百万円、同30.6%の減少。

③ホタテ漁(野付・標津 各年1～3月)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R6	8,247	▲26.6%	2,981	361
R5	11,244	▲13.1%	4,301	383
R4	12,947	▲24.4%	3,646	282

④コマイ漁(野付・標津 各年1～3月)

	数量(t)	金額(百万円)	単価(円/kg)
R6	379	25	66
R5	258	9	35

酪農：根室、釧路管内ともに4～3月生乳生産量は、前年実績を下回る。

根室管内生乳生産量（各年4～3月）

年度別	数量(t)	前年比
R5	1,345,205	▲2.0%
R4	1,374,039	▲3.0%
R3	1,417,218	+3.5%
R2	1,368,539	+1.1%

地区別	数量(t)	前年比
全道	3,913,648	▲3.0%
十勝	1,258,917	▲3.4%
北網	583,478	▲2.9%
根室	831,360	▲1.7%
釧路	513,845	▲2.7%

○R5年度根室管内月別伸び率(前年同月比・%)

R5	10月▲2.9%	11月▲0.8%	12月+0.9%
R6	1月+2.7%	2月+6.6%	3月+2.9%

生乳生産量（4～3月）※生乳生産量はホクレン調べ

●R5年度根室・釧路管内の生乳生産量は、数量1,345,205tで前年同期比2.0%の減少。需給調整に向けた生産抑制と昨夏の猛暑によるもので、2年連続の減少。十勝地区・北網地区の3%台の減少率に比べ、根室地区、釧路地区は2%前後となっており、回復傾向にあるものの依然として道東全地区で減少。

●R5年度は、生産抑制に加え夏の猛暑、飼料価格の高止まりなど生産者にとって厳しい経営環境となったことから、離農者も増え搾乳頭数の減少も要因とみられる。

今後の需給動向等

●R5年3月時点では脱脂粉乳の在庫量は減少したものの、需要低迷から次年度見込みで過剰在庫となる予想。バターは堅調な需要を維持しているが、昨年12月の乳製品値上げや生産抑制と猛暑による生産減少からの回復に左右される見込みで先行き不透明。

●脱脂粉乳が過剰在庫となる場合には、需要が堅調なバターに切り替え手入札する見通しもある。乳製品値上げによる需要の減退で、乳製品在庫の積み増しや処理不可能乳の発生も懸念される中、生産者の安定した生産基盤を維持できるよう、セーフティネットの構築を検討する必要がある。

家畜取引：根室市場は取引頭数、前年同期比1.1%の増加、金額も同3.3%の増加に転じる。別海市の取扱頭数、金額ともに減少。

□根室市場取引高

年度別	取扱頭数(頭)	前年比	金額(百万円)	前年比	単価(千円)
R5	47,015	+1.1%	9,304	+3.3%	197
R4	46,503	+0.2%	9,002	▲19.1%	193
R3	46,408	+3.0%	11,137	▲2.9%	240

□別海市場取引高

	取扱頭数(頭)	金額(百万円)
R5	7,500	823
R4	8,273	1,004
前年比	▲9.3%	▲18.0%

□種類別価格(根室市場)

	R5年10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月
初生ホルスタイン牡 (単位：千円)	27.9	35.0	32.3	23.5	27.8	26.3
肉牛ホルスタイン経産牛 (単位：千円)	142.7	140.7	147.8	174.3	197.0	181.6

貿易：輸出は一般機械、輸送用機器等の減少により全体で2年連続の減少となる。

(R6年1月～3月貿易実績・根室税関支所発表・( )内前年同期比)

【総額】32億65百万円(▲10.7%) 外国貿易船の入港隻数122隻(前年比▲31隻)  
 【輸出】3百万円(▲72.0%)…冷凍魚介類 実績なし 一般機械 96万円(▲89.1%) 輸送用機器 34万6千円(▲77.7%)  
 【輸入】32億61百万円(▲10.5%)…全輸入額を生鮮魚介類の活ウニが占める。(▲5.5%)  
 ●輸出…一般機械が減少したため、全体的に減少となる。  
 ●輸入…冷凍魚介類が減少したため、全体として減少となる。

## 根釧の経済概況（令和6年3月末基準）：釧路管内

水産：釧路港は主要魚種の増加により前年同期比数量・金額ともに増加。厚岸港では水揚げ高数量は減少も、金額増加。

①釧路港総水揚げ（各年1～3月、前年比・%）

全体				
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R6	8,986	+17.5%	1,173	+27.9%
R5	7,642	▲46.7%	917	▲14.8%
R4	14,338	+6.6%	1,076	+8.1%
R3	13,446	▲15.0%	995	▲9.5%
R2	15,823	+67.8%	1,099	▲0.2%

(うち、スケソ)					
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	単価(円/kg)
	5,209	+28.4%	330	+4.4%	63
	4,054	▲67.9%	316	▲51.4%	78
	12,644	+11.3%	651	+13.8%	51
	11,359	▲14.6%	572	▲17.6%	50
	13,308	+97.2%	695	+18.6%	52

②釧路港魚種・漁港別水揚げ（R6年1～3月）

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
スケソ	5,209	+28.4%	330	+4.4%
マダラ	3,136	+52.9%	621	+66.0%
ホッケ	5	5倍	2	—
イカ	18	+5.8%	3	±0.0%
カレイ類	213	▲59.2%	36	▲42.8%
赤物	11	▲50.0%	23	▲45.2%
その他	394	▲59.5%	156	+34.4%

③厚岸港水揚げ（各年1～3月）

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R6	799	▲3.2%	688	16.4%
R5	826	▲0.6%	591	+3.9%

④厚岸港魚種別水揚げ（R2年1～12月）

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
あさり	203	+21.5%	207	+33.5%
かき	182	+2.8%	244	+15.0%
つぶ	11	+120%	10	±0.0%

### 【釧路港水揚げ】

- 主力のスケソ・マダラ・イカは数量・金額ともに増加傾向にある。特にマダラは数量3136t、前年同期比52.9%、金額621百万円で同66.0%の増加で前年同期比大幅上昇となった。スケソの単価は減少。
- カレイや赤物は海水温の上昇を受け、数量・金額ともに大幅に減少。

### 【厚岸港水揚げ】

- 1～3月全体の水揚げは、数量799tで前年同期比3.2%の減少、金額は688百万円で同16.4%増加。
- あさはりは数量203t、前年同期比21.5%の上昇、金額も207百万円、前年同期比33.5%の上昇とともに大幅増加。
- かき・あさはりは単価も前年比較で上昇傾向。
- つぶが数量11t、前年同期比12.7%の減少となり金額は10百万円で前年と変わらずだが、単価で見ると前年1770円/kgから881円/kgとなり、半値近くにまで減少。

製紙：市内製紙工場のR6年1月～3月の生産量92,338t、前年同期比3%の減少。

※日本製紙釧路工場撤退に伴い、生産量の前年同期比のみのお知らせに変更しております。

観光：R5年度はの観光客入込客数は、4,182千人で前年比9.8%の増加。 ※peachは集計対象外

- 航空 ・道外：274千人（前年比+120%） ・国際チャーター：588人（前年実績なし）
- 阿寒湖遊覧船：78千人（前年比53.3%） ○丹頂鶴自然公園：61千人（前年比+71.9%）
- 湿原展望台：80千人（前年比+19.1%） ○MOO：534千人（前年比+8.4%）

- コロナ渦前である平成30年度との対比で約79%まで回復。新型コロナウイルス5類感染症移行後、旅行需要の回復や、人流が活発化していることが要因とみられる。ATWSの開催による認知度向上、台湾からのチャーター便就航など、インバウンドの本格的な回復により、外国人旅行客数の増加が観光入込客数回復の一助となっている。

貿易：輸出額は24.0%増加するも、輸入額は前年比41.6%大幅減少により、総額も38.4%の減少。

(R6年1～3月貿易実績・釧路税関支署発表・( )内前年同期比)

- 【総額】 305億17百万円 (▲38.4%) …釧路港外国貿易船入港隻数84隻 (前年▲4隻、▲4.5%)
- 【輸出】 30億57百万円 (+24.0%) …鉄鋼くずが増加するも魚介類・同調整品、紙類・同製品が減少。  
動物性油脂が前年同期比3.2倍と大幅に増加したことで前年比増加。  
魚介類・同調整品1億34百万円 (▲71.4%)、鉄鋼くず11億30百万円 (+9.8%)、紙類・同製品3億91百万円 (▲20.0%)
- 【輸入】 274億59百万円 (▲41.6%) …飼料が若干増加したものの、魚介類・同調整品、とうもろこし、石炭、肥料が大幅に減少したことで前年比減少。  
魚介類・同調整品7億67百万円 (▲53.2%)、とうもろこし91億19百万円 (▲12.1%)、飼料56億5百万円 (+1.7%)  
石炭16億26百万円 (▲81.2%)、肥料49億78百万円 (▲55.3%)

# 全国・全道の経済概況（令和6年3月末基準）

## 住宅着工戸数

## 公共工事請負高

## 企業倒産動向

## 訪日外国人延宿泊客数

### 全国

●R5年度4～3月は800千戸で前年比7%減少。下半期の着工戸数は全月減少傾向で推移。利用別内訳をみると、持家、貸家、給与、分譲全てにおいて同減少。

月別		着工戸数(戸)	前年比
R6年 3月		64,265	▲12.7%
R6年 2月		59,162	▲8.1%
R6年 1月		58,849	▲7.4%
R5年 12月		64,586	▲3.9%
R5年 11月		66,238	▲8.4%
R5年 10月		71,769	▲6.2%
R5年4~3月計		800,176	▲7.0%
内訳	持家	▲11.4%	貸家 ▲2.0%
	給与	▲10.5%	分譲 ▲9.4%

●R5年度は21兆6,994億円で前年比0.7%の増加。工事請負契約額を月別にみると、下期に入り、1兆5千億円台を推移していたが、3月に3兆9,392億円で大幅増加。

月別		工事請負契約額(億円)	前年比
R6年 3月		39,392	+14.4%
R6年 2月		16,496	▲21.0%
R6年 1月		11,067	▲0.9%
R5年 12月		17,715	+14.4%
R5年 11月		14,160	+8.3%
R5年 10月		14,585	▲16.2%
R5年度		216,994	+0.7%
R4年度		215,422	+7.2%
R3年度		200,989	▲7.1%

●R5年度倒産件数は8,881件で前年比30.6%の増加、過去30年で最も高い。負債額は2兆4344億74百万円で前年比4.1%増加。

	月別推移 (金額単位：億円)			
	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R5年	8,881	+30.6%	24,344	+4.1%
R4年	6,799	+14.9%	23,385	+97.7%
R3年	5,916	▲19.1%	11,828	▲2.8%
R2年	7,314	▲13.8%	12,174	▲0.1%
R1年	8,480	+5.3%	12,187	▲21.6%

●R5年度上期の延宿泊客数は、46,884千人でコロナの5類移行などの影響から前年比14.2倍の大幅増加。国籍別では韓国、台湾が14%と多く、中国、アメリカと続く。

○R5年度 上期月別推移			○R5年(1~12月) 国籍		
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア
9月	7,873	11.4倍	台湾	6,554	14%
8月	7,993	13.5倍	韓国	6,393	14%
7月	8,646	15.3倍	中国	6,119	13%
6月	7,550	15.1倍	アメリカ	5,580	12%
5月	6,980	13.3倍	香港	3,271	7%
4月	7,839	18.3倍	オーストラリア	1,556	3%
上期計	46,884	14.2倍	シンガポール	1,310	3%
○年別推移(4~9月)			タイ	1,226	3%
R4年	3,288	+36.8%	その他	14,875	31%
R3年	2,402	+155.2%	年合計	46,884	100%

### 全道

●R5年度4～3月は28千戸で、前年比3.9%減少。利用別内訳で見ると、持家、分譲は同減少したが、貸家、給与は同増加に転じた。

月別		着工戸数(戸)	前年比
R6年 3月		2,229	▲10.5%
R6年 2月		1,340	+9.4%
R6年 1月		862	▲16.5%
R5年 12月		1,968	▲0.9%
R5年 11月		2,158	▲10.3%
R5年 10月		3,091	+16.3%
R5年4~3月計		28,419	▲3.9%
内訳	持家	▲14.1%	貸家 +11.1%
	給与	+9.7%	分譲 ▲27.2%

●R5年度は、1兆574億56百万円で前年比12.0%の増加。発注機関別にみると、国以外の機関で前年比がすべて増加しており、特に独立行政法人と地方公社は大幅増加。

年別		前払保証請負額(百万円)	前年比
R5年度		1,057,456	+12.1%
R4年度		943,425	▲7.1%
R3年度		1,015,121	▲3.2%

発注機関別 (R5年4~12月)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
国	259,644	▲7.0%
道内市町村	308,597	+22.5%
道	231,679	+3.0%
独立行政法人等	149,518	+62.8%
地方公社	1,189	+52.3%

●R5年度の倒産件数は258件で前年比52件、負債額は337億17百万円で前年比7.5%の増加。2年連続の増加となり、小売業、建設業の倒産が大幅増加したことが要因とみられている。また、倒産原因の7割近くが販売不振を理由に倒産している。

	月別推移 (金額単位：百万円)			
	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R5年	258	+25.2%	33,717	+7.5%
R4年	206	+45.1%	31,364	+62.5%
R3年	142	▲16.0%	19,300	▲6.9%
R2年	169	▲15.9%	20,738	▲37.0%
R1年	201	▲5.6%	32,896	+52.2%

●R5年度上期の延宿泊客数は2,499千人で、前年比38.4倍の大幅増加。国籍別では、韓国が27%、台湾25%と多く、香港、中国と続く。

○R5年(1~12月) 国籍					
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア
9月	357	21.7倍	韓国	676	27%
8月	515	26.7倍	台湾	613	25%
7月	599	47.0倍	香港	259	10%
6月	422	58.1倍	中国	161	6%
5月	332	51.3倍	シンガポール	151	6%
4月	271	96.1倍	アメリカ	109	4%
上期計	2,499	38.4倍	タイ	66	3%
○年別推移(4~9月)			マレーシア	45	2%
R4年	64,980	+58.8%	その他	419	17%
R3年	40,900	+86.6%	上期合計	2,499	100%

# 根釧の経済概況（令和6年3月末基準）

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

訪日外国人延宿泊客数

## 根室

●R5年度4～3月は84戸で、前年比6戸の増加。利用別にみると、特に、持家が前年比大幅減少、貸家が同比大幅増加。

□根室市住宅着工戸数

	月別		
	戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R5年4～3月計	84	+6	+7.6%
R6年 3月	3	+2	3倍
R6年 2月	0	▲20	全減
R6年 1月	2	▲10	▲83.3%
R5年 12月	2	+1	100%
R5年 11月	0	▲6	全減

	年別・利用別					
		持家	貸家	給与	分譲	合計
R5年度 4～3月	34	46	2	2	84	+6
R4年度 4～3月	70	4	0	4	78	+3
R3年度 4～3月	57	11	7	0	75	+14

●R5年度は、274億98百万円で前年比13.6%の増加。工事種類別にみると主要なものはすべて前年比減少している。

	年別	
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R5年度 4～3月	27,498	+13.6%
R4年度 4～3月	24,193	+0.6%
R3年度 4～3月	24,035	▲11.5%
R2年度 4～3月	27,166	▲9.2%

工事種類別 (R5年度4～3月)	前払保証請負額(百万円)		前年比
一般土木	16,285	▲1.7%	
舗装	1,669	▲8.2%	
建築	4,880	▲9.7%	
電気	1,206	▲53.5%	
管	658	▲34.1%	

●R5年度根室管内の倒産件数5件、負債額1,377百万円で、件数、金額ともに前年比増加。うち根室市は、件数2件、負債額1,192百万円。販売不振が主な理由。

各年(4～3月)	年別			
	【根室管内】		【うち、根室市】	
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R5年	5	1,377	2	1,192
R4年	3	379	2	64
R3年	1	13	0	0
R2年	8	2,065	1	22
R1年	2	213	1	115

●R5年度上期の訪日外国人延宿泊客数は、5,198人で前年比10.5倍の増加。コロナに伴う入国制限がコロナ渦前の状態に戻ったことで、大幅な増加となる。国籍別に見ると、台湾がおよそ25%を占め最も多い。知床海難事故から1年経過し、観光船需要も相まって今後も増加が見込まれる。

○R5年度 上期月別推移			○R5年度 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
9月	929	5.6倍	台湾	1,277	25%
8月	965	10.8倍	香港	776	15%
7月	1,236	26.8倍	中国	748	14%
6月	947	12.9倍	シンガポール	331	6%
5月	807	12.0倍	アメリカ	277	5%
4月	314	5.6倍	イギリス	257	5%
上期計	5,198	10.5倍	韓国	231	4%
○年別推移(4～3月)			タイ	151	3%
R4年	494	+112.0%	その他	1,150	23%
R3年	233	▲26.2%	上期合計	5,198	100%

## 釧路

●R5年度4～3月は496戸で、前年比34戸増加。利用別にみると、特に持家が前年比減少、貸家が大幅増加。

□釧路市住宅着工戸数

	月別		
	戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R5年4～3月計	496	+34	+7.3%
R6年 3月	20	+19	20倍
R6年 2月	26	+6	+30.0%
R6年 1月	24	+12	2倍
R5年 12月	23	▲17	▲42.5%
R5年 11月	39	▲21	▲35.0%

	年別・利用別					
		持家	貸家	給与	分譲	合計
R5年度 4～3月	223	234	1	38	496	+34
R4年度 4～3月	269	145	1	47	462	▲144
R3年度 4～3月	345	202	7	52	606	▲38

●R5年度は、469億34百万円で前年比13.3%の増加。工事種類別にみると、建築のみ前年比減少しており、その他の項目は同増加。

	年別	
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R5年 4～3月	46,934	+13.3%
R4年 4～3月	41,426	▲5.8%
R3年 4～3月	43,979	▲13.1%
R2年 4～3月	50,663	+7.8%

工事種類別 (R5年度4～3月)	前払保証請負額(百万円)		前年比
一般土木	24,367	+1.7%	
舗装	3,058	+57.1%	
建築	9,268	▲21.3%	
電気	3,401	+23.6%	
管	1,957	+86.7%	

●R5年度釧路管内の倒産件数17件、負債額1,087百万円で、件数、金額ともに前年比大幅減少。うち釧路市は件数14件負債額794百万円で、件数は同比増加も、負債額は減少。

各年(4～3月)	年別			
	【釧路管内】		【うち、釧路市】	
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R5年	17	1,087	14	794
R4年	11	2,895	7	1,914
R3年	9	993	8	906
R2年	11	933	5	374
R1年	12	1,524	8	850

●R5年度上期の訪日外国人延宿泊客数は、56,907人で、前年比28倍の増加。国籍別では台湾がおよそ39%で最も多く、香港、中国と続く。水際対策の緩和により大幅増加。中国・韓国はコロナ前の水準への回復が遅い。釧路空港では国際チャーター便運航が復活するためインバウンドの増加が見込まれる。

○R5年度 上期月別推移			○R5年度 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
9月	10,083	14.0倍	台湾	22,060	39%
8月	10,494	26.0倍	香港	7,311	13%
7月	12,928	33.4倍	中国	5,644	10%
6月	9,405	41.9倍	シンガポール	4,896	9%
5月	10,843	87.4倍	韓国	2,740	5%
4月	3,154	19.4倍	アメリカ	2,459	4%
上期計	56,907	28.2倍	マレーシア	1,595	3%
○年別推移(4～3月)			フランス	855	2%
R4年	1,959	+88.7%	その他	9,347	15%
R3年	1,038	▲11.7%	上期合計	56,907	100%